

平成25年度病害虫発生予報第8号(11月予報)

＜お知らせ＞冬春期野菜の定植期および生育初期の病害虫防除対策についてのコラムがあります(12ページ参照)。
イネヨトウの性フェロモントラップへの誘殺数の推移について以下URLに掲載しております。
<http://www.pref.okinawa.jp/site/norin/byogaichubojournal/documents/h25-ineyo.html>

今月のトピックス

黒腐病(さとうきび)

学名: *Ceratocystis paradoxa*

発生圃場



定植苗の症状(植付後10～30日後)



病徴の進展(接種試験)



厚壁孢子



生態と被害

本病は、子のう菌類に属し、厚壁孢子、分生子、子のう胞子を生じ、茎部で発生する。主に定植直後の苗で発症し、発芽不良の原因となる。はじめに茎の傷部や苗の切り口から赤変し、のちにその部分に分生子および厚壁孢子からなる黒色のすす様粉状物を生じ、パインアップルに似た香気を発散する。土壌中の厚壁孢子と分生子によって、ときには罹病茎からの苗によって伝染する。立毛のさとうきびでは風に飛ばされた胞子が傷部から茎内に侵入し、感染する。一般に乾燥など発芽が抑制される条件で発病しやすいとされる。病原菌に対する感受性が品種間で異なり、アメリカでは抵抗性品種作付けによる防除が普及している。また、本菌はパインアップルやバナナ、ナツメヤシなどにおいても発病する。

<http://www.pref.okinawa.jp/site/norin/byogaichubojournal/index.html>